

相模原市『いじめ防止フォーラム』 ～みんなで考えよう、いじめのない社会づくり～ が開催されました。

平成26年11月16日（日）「ソレイユさがみ」において、相模原市と相模原市教育委員会との共催による、「いじめ防止フォーラム」が開催されました。児童、生徒、保護者、一般市民、学校関係者、関係団体の方等で約165名の参加があり、会場はほぼ満員となりました。

基調講演では、国立教育政策研究所の滝充総括研究官が、「未然防止のための正しいいじめ理解」をテーマに、「いじめは風邪のようなものであり、誰もが罹る可能性があることや風邪の予防には免疫力を高めることが必要であり、いじめ防止の免疫力とは自己有用感を持つこと」などの話がありました。



また、学校の取組発表として、当麻田小学校からは、1年生から6年生までの縦割り班活動を児童が作文や写真を使って紹介しました。異学年生が遊びを通して交流するなど分かりやすい発表でした。また、旭中学校からは、生徒が主体的にいじめをなくすための実践が発表され、あいさつ運動や子どもセンターにおける小学生との交流など、力強い発表でした。

シンポジウムにおいては、「自分も大切、あなたも大切」をテーマに、中学生・高校生・保護者・地域活動者・教師など様々な立場から意見を出し合いました。中学生からは、「いじめは絶対にダメだと思っている。いじめをなくすために、これからも頑張りたい」や保護者からは、「子どもが帰宅したときの表情に心を配り、状況に応じた声かけをするようにしている」など、活発な意見交換が行われました。

参加者からは、「小中学生の取組発表がすばらしく、いじめがなくなることに希望が持てました」や「地域に戻り、生徒たちの思いを考えながら、子どもたちと接していきたいと思います」などの感想が聞かれ、相模原市の子どもたち一人ひとりの幸せと安心・安全を考え、それぞれの立場でできることが再確認されました。